

2020年6月29日

No. 20-181

株式会社 伊予銀行

TSUBASAアライアンス参加行によるオリジナルエコバッグの共同作製について

～「TSUBASAアライアンス」連携施策として、地域における環境保護意識の啓発を目的に～

伊予銀行(頭取 三好 賢治)ほか「TSUBASAアライアンス」参加行(以下、「TSUBASA行」)¹は、地域における環境保護意識の啓発を目的としてオリジナルエコバッグを共同作製しましたので、お知らせいたします。

近年、日常生活で使われているレジ袋やペットボトルなどのプラスチック製品が不法投棄などにより海へ流出し、海洋汚染や生態系へ影響を与える海洋プラスチックごみ問題が深刻化しており、今年7月からはレジ袋の有料化がスタートするなど政府も対策に乗り出しています。

TSUBASA行は、昨年5月、国連で採択されたSDGs²の達成に向けた共同の「TSUBASA SDGs宣言」を行っています。この取組みも“持続可能な環境の保全に貢献する”という共通課題への対応の一環であり、繰り返し使用できるエコバッグの配布をつうじてお客さまにリサイクル意識の向上や海洋プラスチックごみ問題を身近に考えるきっかけとなることを期待しています。当行ではこのエコバッグを6月30日(火)より順次、お取引先に配布してまいります。

なお、この取組みをより多くの方に知っていただくため、今回、環境省が推進する「プラスチック・スマート」キャンペーン³にも参加しています。

TSUBASA行は、今後も「TSUBASA SDGs宣言」に基づき、参加各行の知見を結集して地域が抱える社会・環境問題に取り組み、地域社会の持続的な成長に貢献してまいります。

- 1 当行、千葉銀行、第四銀行、中国銀行、東邦銀行、北洋銀行、北越銀行、武蔵野銀行、滋賀銀行、琉球銀行の10行が参加する地銀広域連携の枠組み。
- 2 Sustainable Development Goalsの略称で、2015年に国連で採択された2030年までの持続可能な開発目標のこと。
- 3 海洋プラスチックごみ問題の解決に向け、個人・企業・団体・行政などがそれぞれの立場でできる取組みを応援するキャンペーンのこと。



以上